

よる記録に頼る宿命をもつ限り、文字の意味することを正しく理解し、記録を正しく評価することが前提にあって、はじめに歴史研究の資料となし得る、とする立場を採っておられた。

この立脚点をもつ先生の医史学研究は、専攻する現代小児科学領域から問題点をつかんで古典を読むという歴史研究で、広い視野と緻密な考証をもって独自の境地を次々と開拓されて行つた。

その一端は、先生が五四年五月から五五年一月まで六回にわたつて大阪府医師会主催で開催された「古代中国医学史講座」のテキストとして準備した、各誌発表の論考別冊を中心に合冊の『古代中国医学史話』（大阪府医師会刊、第二一回日本医学会總會記念頒布）からうかがえる。そのほかにも「医学史研究」などに発表された医心方小児科領域その他の手固い論考があり、この方面の研究者は、是非参照し活用してほしい。

いかにも小児科の臨床医らしい温顔の温厚なお人柄で、碩学ぶらない人格者だった。

先生の御冥福をお祈りする。

日程 理事・評議員会 四月二日(木) 午後五時〇〇分から

於 北里本館

講演

特別講演

秦佐八郎の生涯と業績

秦 藤樹

メランコリーの歴史

大橋 博司

会長講演

隋唐の医書に見られる

精神病とその治療

大塚 恭男

一般講演

四月三日(金)・四日(土) 午前九時より

總會、昼食

四月三日(金) 十二時〜一時

写真撮影、昼食

四月四日(土) 十二時〜一時

懇親会

四月三日(金) 午後六時三〇分〜八時三〇分

於 北里本館

会費・その他

参加費 五、〇〇〇円

懇親会費 六、〇〇〇円

記念写真代 一、〇〇〇円

總會および学術大会に関する問い合わせ先

〒一〇八 東京都港区白金五―九―一

北里研究所附属東洋医学総合研究所

医史学研究室内

第八十八回日本医史学会總會準備事務局

〒一〇八 東京都港区白金五―九―一 内五三三四

第八十八回日本医史学会總會(案内)
会期 昭和六十二年四月三日(金)・四日(土)
会場 北里大学E号館

〒一〇八 東京都港区白金五―九―一

〒一〇八 東京都港区白金五―九―一